

Chances for everyone, everywhere.

エンジニア採用資料



目次

1. 会社・プロダクトの概要
2. 技術本部の組織・カルチャー
3. エンジニアメンバー
4. 採用関連の主な質問と回答

目次

1. 会社・プロダクトの概要
2. 技術本部の組織・カルチャー
3. エンジニアメンバー
4. 採用関連の主な質問と回答

私たちのやっていること

グローバルに人々が活躍する基盤を作る

英語はコミュニケーションツールのひとつ。大切なのは、何を、誰と、何のために英語を話すのか——。

レアジョブは、人とテクノロジーの力を活かし、英語を習得した先にあるチャンスと可能性を社会に提案していきます。

その実現のために

- ・英語関連事業
- ・グローバルリーダー育成事業
- ・キャリア関連事業

を展開しています

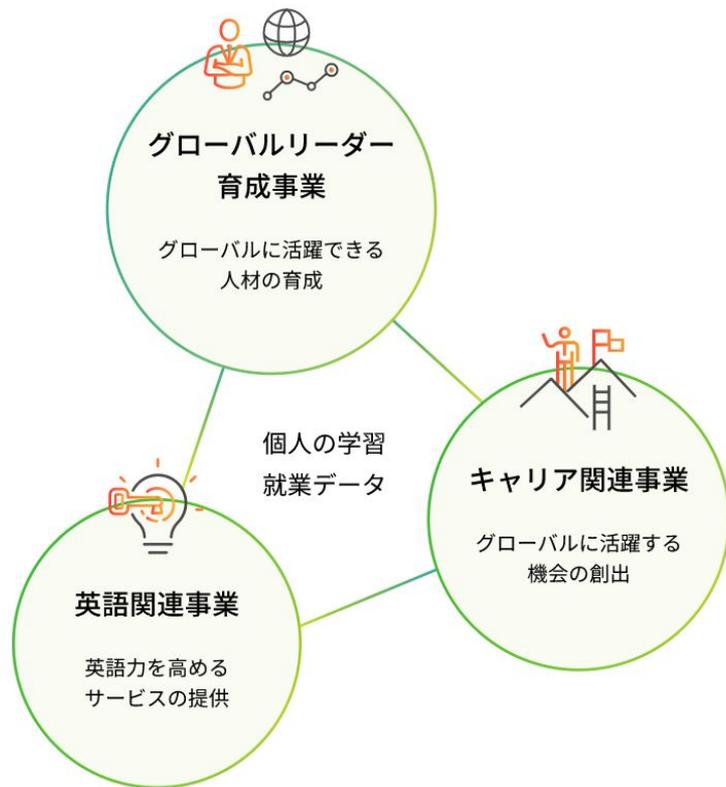


事業内容

レアジョブでは、「グローバルに人々が活躍する基盤を作る」ことを目的とし、中核の英語関連事業だけでなく、グローバルリーダー育成・キャリア関連事業と3つの事業を展開するベンチャー企業です。

誰でも、どこにいてもチャンスをつかみ、活躍できる未来を創造します。

技術本部では、各領域に対するインフラからアプリケーション開発、デザインまでを担い、学習者のための良い学習体験を日々改善しています。



会社概要

■ オフィス所在地

国内(本社原宿、大阪、名古屋)
連結子会社(フィリピン)

■ 設立

2007年10月18日

■ 上場取引所

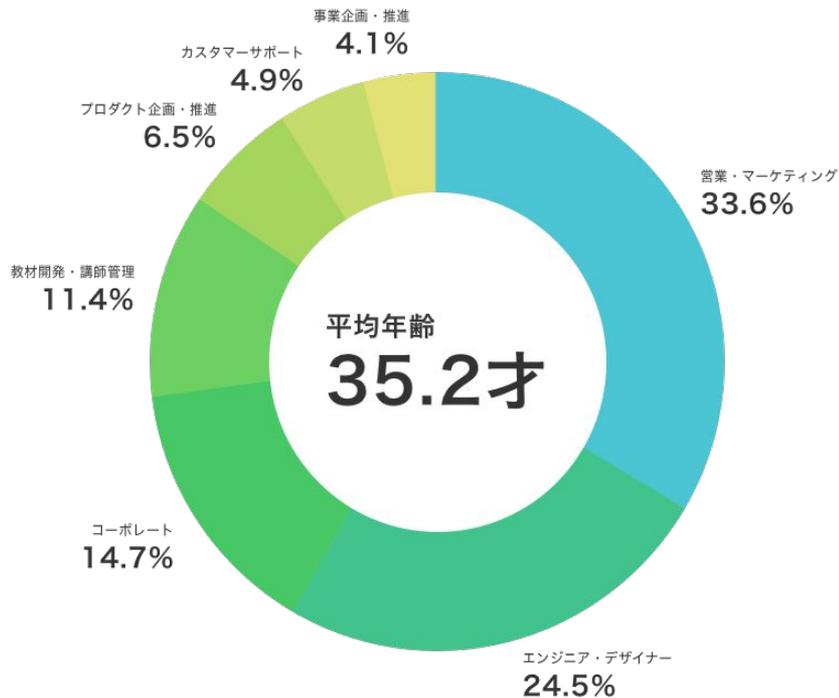
東京証券取引所プライム市場

■ 従業員数

129名(2020年3月時点)



職種比率



■ 社員数

129名(海外子会社含む 657名)

うちエンジニア 23名

■ 平均年齢

35.2歳

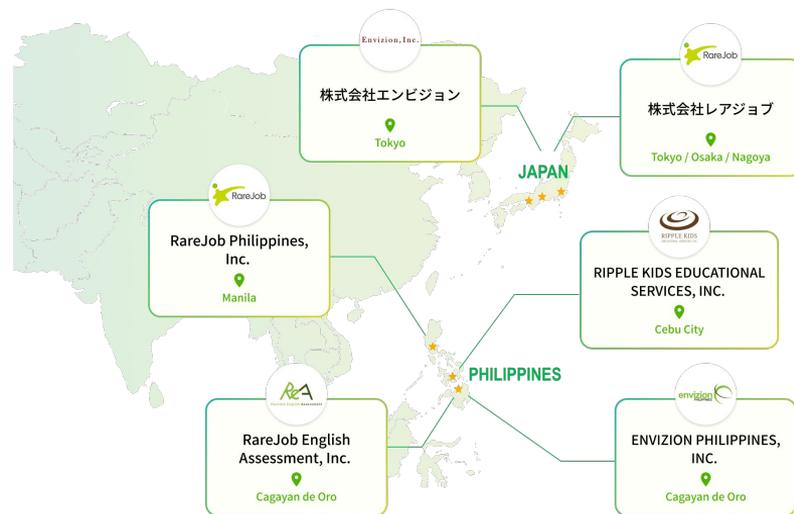
日本とフィリピンの連携

日本だけでなく、フィリピンにも拠点があり、レッスン供給や教材開発やシステム開発を推進しています。

開発においては講師の利用するサイトの開発・運用をフィリピンで担っています。テレカンや出張ベースでの横断したプロジェクトを進めています。

* 横断プロジェクト例

- 新教材の開発
- サイト全体のリニューアル
- 横断したインフラの管理
- etc...



提供するサービス

BtoC向け「レアジョブ英会話」を主軸とし、新規事業としては成果保証型の英会話プログラム開発や、英子供向けの英会話サービスも提供しています。既存・新規の開発やリニューアル等の案件が進んでいます。



レアジョブ英会話

個人向けオンライン英会話サービス



レアジョブ英会話
法人向けサービス

法人向けオンライン英会話サービス

Envizion, Inc.

教育機関向けサービス



レアジョブ独自開発の成果保証型
英会話プログラム



子ども向けオンライン英会話サービス

PROGOS

ビジネス英語スピーキングテスト

2020年度の注カプロダクト・プロジェクト



- ・リニューアル
- ・プラットフォーム導入
- ・オートスケール化

- ・レッスンルーム全展開
- ・CVR改善



- ・運用・体験改善
- ・販促(コンシューマ向け展開)

PROGOS

- ・自動採点リリース
- ・単体試験対応
- ・精度向上



サービスの詳細

レアジョブ 英会話(サービスの特徴)



01 顧客満足度No.1

99.4%が「始めてよかった」と回答。

※ MMD研究所「オンライン英会話の利用」に関する調査 (2015.6.19) より



02 毎日朝6時～深夜1時まで開講

予約は当日5分前まで。思い立ったら即レッスン。



03 Skype以外の「レッスンルーム」

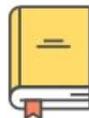
ブラウザまたはアプリで利用する独自機能なので、Skypeアカウントがなくても受講できます。

[VIEW MORE >](#)



04 学習経験豊富なフィリピン人講師

第二言語として英語を習得したフィリピン人講師が、学習を徹底サポート。



05 5,000以上の教材から選択可能

レベルや目標に合わせて最適な教材を利用できます。



06 学習相談は日本人スタッフへ

受講者に寄り添い目標達成を徹底的にサポート。(受付時間：9～24時)

レアジョブ 英会話(サービスの特徴)

オンライン英会話
No.1*



累計会員数
90万人



カウンセリング数
60,000回



レッスン数
5,000万回



講師数
6,000人



法人導入社数
3,100社以上



高品質なレッスン

第二言語習得論など学術的な知見に基づく教材・カリキュラムを、採用率1%の優秀な講師によって提供。

安定的なレッスン供給体制

フィリピンに講師の採用・管理を担う子会社が4社あり、数千人対象の大規模研修への対応も可能。

データやテクノロジーを活用したサービス開発

5,000万回のレッスンデータの分析を行い学習効率や学習継続率を高めるプロダクトを企画・開発。



サービス詳細

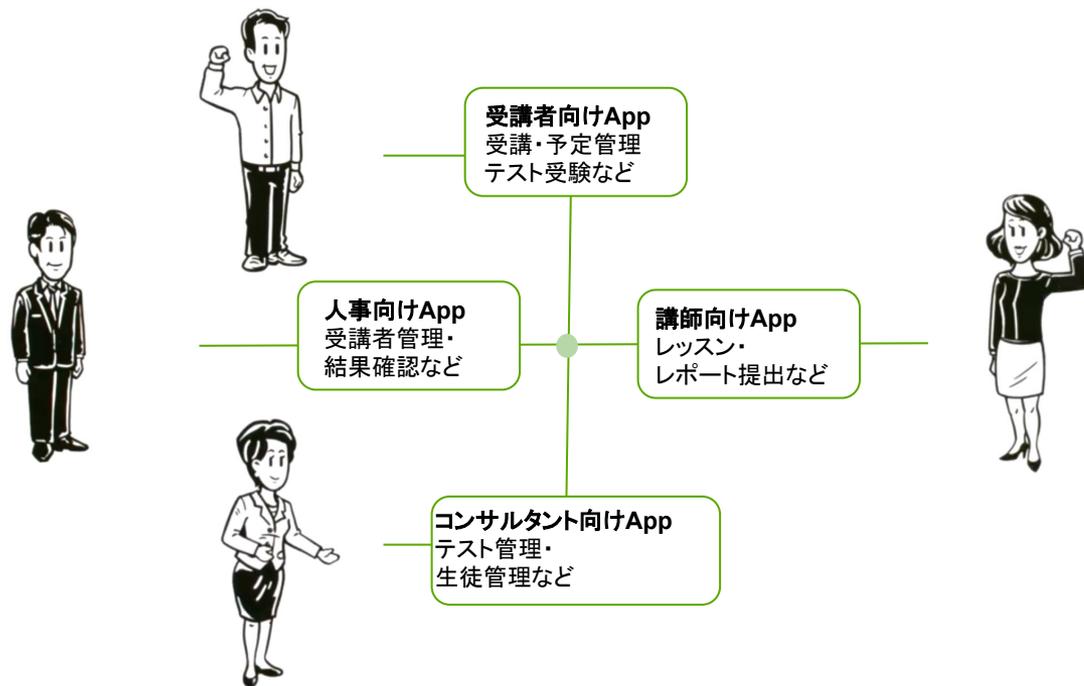
スマートメソッド®コースとは

英語スピーキング力を確実に向上させる、成果保証型 **短期集中英会話プログラム**



スマートメソッド®コースとは

英語スピーキング力を確実に向上させる、成果保証型 短期集中英会話プログラム



▼サービス概要

- ・国際基準CEFR(CEFR-J)に基づき、受講者のスピーキング力を発音や正確さなどの項目ごとに分析。個人に最適化した指導を行う
- ・約4ヶ月でスピーキング力をCEFR(CEFR-J)のレベルで1段階以上アップさせる「成果保証」
- ・日本人専属コンサルタントが期間中伴走し、学習の継続をサポート
- ・自社内製のオリジナルの学習管理システムを提供

スマートメソッド®コースの特徴



成果保証



オンライン完結



個別最適化



ビジネスに実践的な
カリキュラム



日本人
コンサルタント

XXXX 先生 リクエスト詳細 レッスン残り時間 8:30

Level Up Lesson
INTERACTION
Asking about Past Events

Lesson Details

Theme: Asking about history in Company 3.0 Unit 9 - What Happened Elementary	Lesson No.: 14
--	----------------

I. Assessment

You will now be assessed by your tutor. Do the task below.

Assessment Task

You are conducting an **interview** with an applicant for the marketing staff position. Start the interaction by asking questions about his/her educational background. Use the checklist below as your guide.

Educational Background

チャットボックス レッスンメモ

can you hear me?
Let's start today's lesson!

Could you send me today's lesson material?

講師がリンクを送りました
クリックして表示

スマートメソッド™コース

Dashboard

Level check test

1回目 2018/04/01	B1.1	レッスン受講率 62.5%
2回目 2018/04/02	A2.2	実績: 60レッスン 基準: 60レッスン 全体: 80レッスン
3回目 未定	-	

Weekly test

受験率 86.7%	合格率 93.3%
実績: 13回 全体: 15回	実績: 14回 全体: 15回

今日の予定

- 16:00 - 17:00
Level Up Lesson
[講師] Ansab
[入室する](#)
- 17:00 - 18:00
コンサルティングセッション
[コンサルタント] レアジョブ 花子

Consultant
レアジョブ 花子

WEEKLY TEST RESULT

Total Score: **44/55 points (80.0%)**

A	Excellent	90 - 100%
B	Pass	80 - 89%
C	Fail	below 80%

BREAKDOWN OF SCORES:

Section1 (Knowledge) Score: **12/15 points**

PART1 8/10 points

Good - Able to identify most of the correct vocabulary

ANSWER KEY	RESULT
1. Wi-Fi	correct
2. online	incorrect
3. surfs	correct
4. developers	correct
5. emails	correct
6. smartphone	correct

PART2 4/5 points

Good - Able to recall and apply the grammar rules

ANSWER KEY	RESULT
1. will	correct
2. is	correct
3. can	correct
4. are	correct
5. can	incorrect

Level Check Test Report
Smart Method Course

Name _____
Company / Organization _____
Test Date _____

OVERALL SPEAKING LEVEL

Can give more details about familiar topics using a wide range of words, phrases, and expressions.
Can maintain a social conversation using a wide range of simple words and expressions.

B1.1

QUALITY OF SPEAKING

Range	Accuracy	Fluency	Interaction	Coherence	Phonology
B1	B1	A2	A2	A2	B1

Equivalent Rarejob Speaking Level RJ Level 6

Copyright © 2020 Rarejob All Rights Reserved.

XXXX 先生 | ログアウト詳細 | レッスン残り期間 8:30

Level Up Lesson INTERACTION | Asking about Past Events

Lesson Details

Theme: Asking about history in Company 3.0 Unit 9 - What Happened Elementary	Lesson No.: 14
--	----------------

I. Assessment

You will now be assessed by your tutor. Do the task below.

Assessment Task

You are now being assessed by your tutor. Start the check...

チャットボックス | レッスンメモ

can you hear me?
Let's start today's lesson!
Could you send me today's lesson material?

講師がリンクを送りました
クリックして表示

スマートメソッド™コース | Dashboard | Hironi Mifune

Dashboard

Schedule

Material List

Lesson History

Consulting History

Test

Level check test

1回目 2018/04/01	B1.1
2回目 2018/04/02	A2.2
3回目 決定	-

Lesson

レッスン受講率 62.5%

実績: 60レッスン
基準: 60レッスン
全体: 80レッスン

今日の予定

- 16:00 - 17:00
Level Up Lesson
講師: Anasab
[入室]
- 17:00 - 18:00
コンサルティングセッション
[入室]

Consultant

レアジョブ 花子

Weekly test

変換率 86.7%

合格率 93.3%

主な利用技術

PHP, Laravel, Vue.js, RDS, AWS (EC2/Elasticsearch...)DDD



WEEKLY TEST RESULT

Total Score: 44/50

A	Excellent	90 - 100%
B	Pass	80 - 89%
C	Fail	below 80%

BREAKDOWN OF SCORES:

Section1 (Knowledge) Score: 12/15 points

PART1 8/10 points

Good - Able to identify most of the correct vocabulary

ANSWER KEY	RESULT
1. Wi-Fi	correct
2. online	incorrect
3. surfs	correct
4. developers	correct
5. emails	correct
6. smartphone	correct

PART2 4/5 points

Good - Able to recall and apply the grammar rules

ANSWER KEY	RESULT
1. will	correct
2. is	correct
3. can	correct
4. are	correct
5. can	incorrect

Name

Company / Organization

Test Date

Can give more details about familiar topics using a wide range of words, phrases, and expressions.
Can maintain a social conversation using a wide range of simple words and expressions.

B1.1

QUALITY OF SPEAKING

Range	Accuracy	Fluency	Interaction	Coherence	Phonology
B1	B1	A2	A2	A2	B1

Equivalent Rarejob Speaking Level | RJ Level 6

Copyright © 2020 Rarejob. All Rights Reserved.

PROGOS

サービス詳細



ビジネス英語に特化

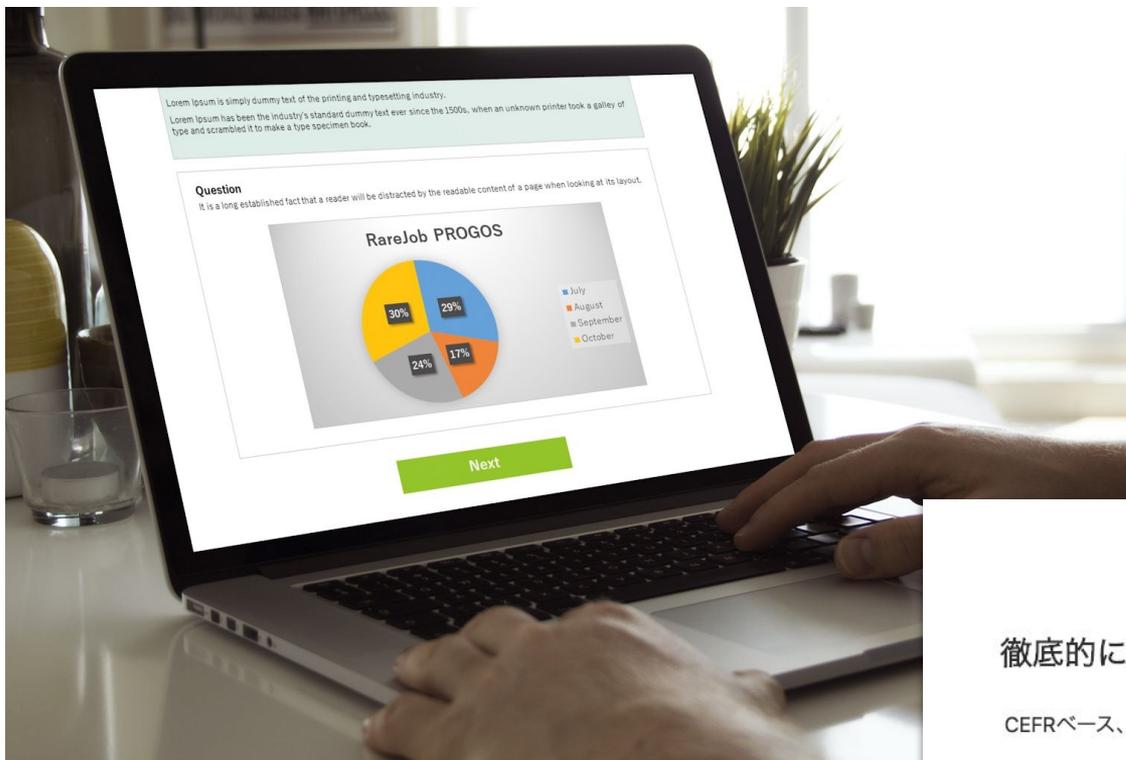
幅広く「職場で使える英語力」を計測

プレゼンテーション、顧客・同僚との関係性構築、意見の提示・交渉・説明などのビジネスシーンを踏まえた、英語スピーキング能力を測定するシステムです。

PROGOSとは



AIと音声認識技術を組み合わせスピーキングテストの採点自動化(PROGOS)



総合評価

限られた範囲の構文の中で、簡単な単語やフレーズを使い、限られた身近な話題に関して話すことができます
限られた表現を使い、身近な話題に関して簡単な質問をしたり答えたりすることができます

CEFR準拠 Level **A1 High**

RareJob Level **3**

[CEFRレベルの確認](#)

指標別評価

Range 表現の幅	CEFR
人や場所に関して基本的な単語を使うことができます。	A1

フィードバック
レベルアップへの学習アドバイス>
短いフレーズや文章を使い、人、日常生活、好みに異なって描写してみましょう。また、一般的な事柄に対して自身の考えを表現してみましょう。

<具体的な学習例>
▼学習アドバイス
"two years ago, in three weeks"などの時刻表現を使い、物事を説明する時に「いつの話なのか」を必ず添削しましょう。
下記の構文を、自己紹介や、自分の状況について話すシーンを使い

Accuracy 正確さ	CEFR
複雑な構文を使おうとするが誤りはあるものの、簡単な構文や文章パターンになり正確に使うことができます。また、誤解を招く誤りも殆ど自分で修正できます。	B2

フィードバック
レベルアップへの学習アドバイス>
誤りを犯したとしても、自分で修正でき、高いレベルの文法的正確さを維持しましょう。

<具体的な学習例>
▼学習アドバイス
"due to, on account of"などの表現を使い、物事の因果関係について明確に説明する練習をしましょう。
下記の構文を、上司や同僚に報告をするシーンを使い厚くべながら練習しましょう。

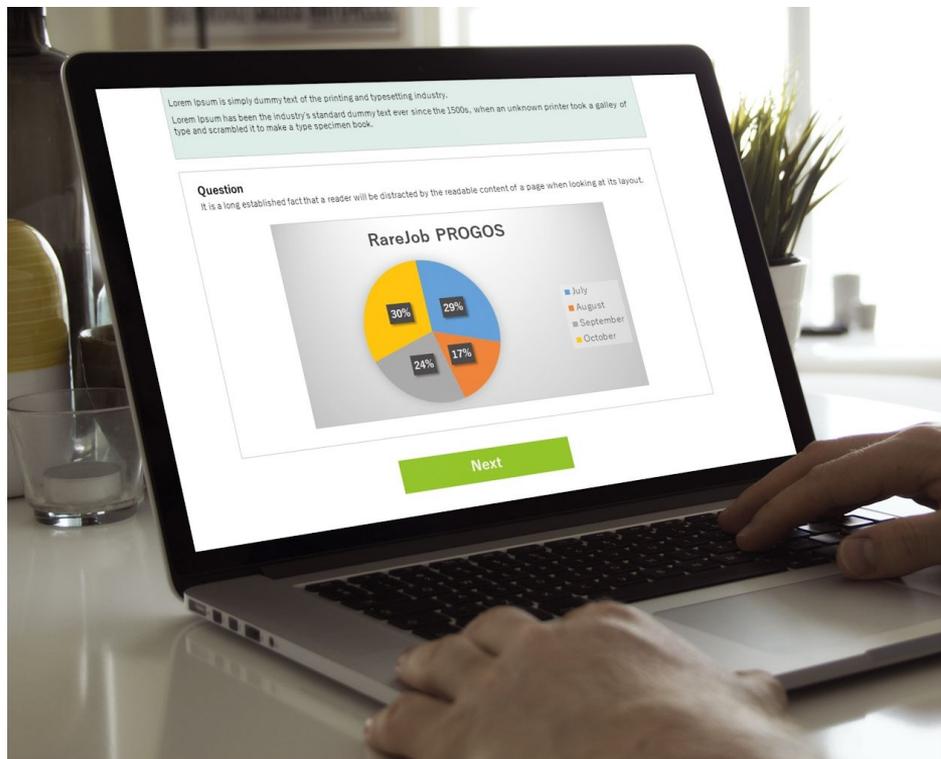


Learner Friendly

徹底的に学習者の目線から見た、学習者のためのテスト

CEFRベース、6指標別で自分のビジネス英語スピーキング力の現状把握ができます。
また結果を基に、一気に通貫した事後学習が可能です。

AIと音声認識技術を組み合わせスピーキングテストの採点自動化(Progos)



総合評価

限られた範囲の構文の中で、簡単な単語やフレーズを使い、限られた身近な話題に関して話すことができます
限られた表現を使い、身近な話題に関して簡単な質問をしたり答えたりすることができます

CEFR準拠
Level **A1 High**

RareJob
Level **3**

[CEFRレベルの確認](#)

指標別評価

指標	評価
Range 表現の幅	CEFR A1
Accuracy 正確さ	CEFR B2

人や場所に関して基本的な単語を使うことができます。

フィードバック
レベルアップへの学習アドバイス
短いフレーズや文章を使い、人、日常生活、好きな異国について話してみよう。また、一般的な事柄に対して自身の考えを表現してみよう。

複雑な構文を使おうとすると誤りはあるものの、簡単な構文や文章パターンにかなり正確に使うことができます。また、誤解を招く誤りも殆ど自分で修正できます。

フィードバック
レベルアップへの学習アドバイス
誤りを犯したとしても、自分で修正でき、高いレベルの文法の正確さを維持しましょう。

主な利用技術

- PHP
- Laravel
- Vue.js
- RDS
- AWS (s3/DB/Fargate/SQS...)
- GCP
- ServerLess



社内の様子



目次

1. 会社・プロダクトの概要
2. 技術本部の組織・カルチャー
3. エンジニアメンバー
4. 採用関連の主な質問と回答

会社としてのカルチャー

RareJob Way

全社横断の行動規範

やりたいことをやろう High Alignment High Autonomy

何かをやりたい、成し遂げたいという気持ちは最高の原動力になります。ビジョン・ミッションの達成に向けて、一人一人がリーダーとして、やりたいことをみつけ、コミットしてやり抜きましょう。

ストーリーを語ろう Share the Whole Story

ストーリーを語り、共感を得ることによって人は大きく動かされます。お客様にも仲間にもストーリーを語って説明を行い、多様なメンバーの中で一つのゴールに向かってみんなで進めていきましょう。

変化を生み出そう Make a Difference

私たちの事業では、正解がわからない中で物事を前に進める必要があります。大きな事を成し遂げるためには小さくまとまらず、失敗や批判を恐れず挑戦し、大胆に新しい変化を生み出し続け、お客様にも社会にもインパクトを与えましょう。

Technology for learners

私たちの技術は常に学習者のために活用・改善します

技術本部の部署構成

Service Development Department

Service Development
Team

APPUX
Team

Design
Team

Core Technology Platform Department

Platform
Team

DevOps
Team

ITS
Team

EdTech Lab

Edtech
Lab

各チームの役割

Service Development Department

Service Development
Team

サーバサイド開発チーム
レアジョブ英会話をメインとした
Webアプリケーション開発全般、主にAWS・サーバサイドの開発・運用

APPUX
Team

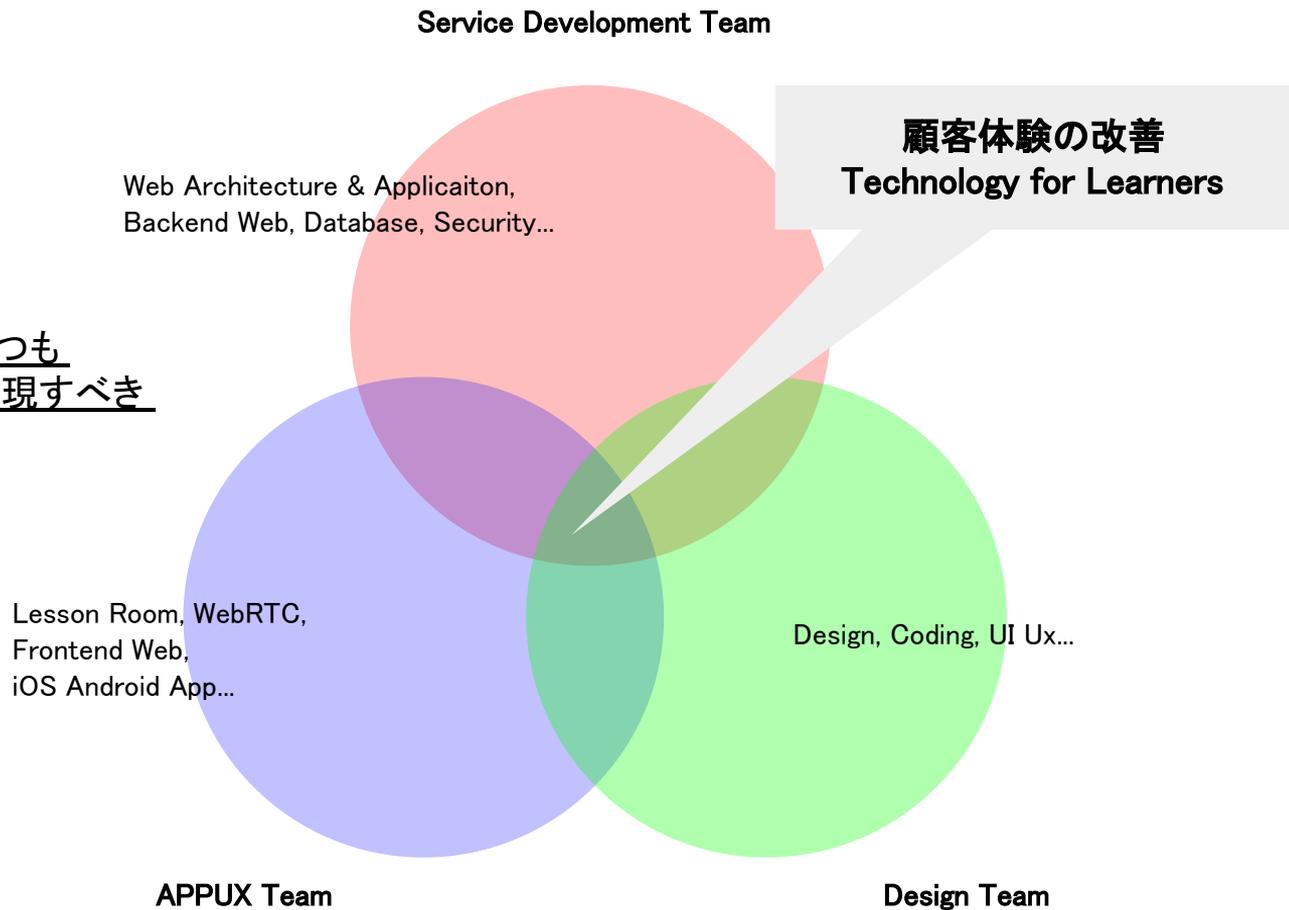
ユーザーのレッスン体験の改善チーム
レッスンルーム(フロントエンドプロダクト)の開発・運用
ネイティブアプリの開発・運用

Design
Team

ユーザーのUI/UXの改善チーム
生徒側の全てのデザインを担う、デザインからコーディングまで広く対応
紙媒体からWebまで対応

各チームの強み

各々が得意領域・強みを持ちつつも
有機的に越境し、技術本部の実現すべき
ミッションを実現する



各チームの役割

Core Technology Platform Department

Platform
Team

共通基盤開発チーム
Goを利用した共通基盤サービスの開発、DMPの運用など
GCP、AWSを活用したシステム開発

DevOps
Team

インフラチーム
全てのサービスインフラの構築・運用・設計・管理

ITS
Team

情報システムチーム
レアジョブの社内インフラの管理、運用
ヘルプデスク、ハードウェア管理

各チームの役割

EdTech Lab

EdTech Lab

事業へとつながるシステムの研究開発
データ分析と事業へのフィードバック
サービスへのデータ活用の提案・実装

身につく力・他社にない特徴(サーバサイドエンジニア)

▼身につく力

- プロダクトを成長させる力

会社の変革期において、注力事業に対して適切な技術選定をアプリケーション・AWS内で進めながら、機能開発・保守を行います。単に作るだけでなく、企画段階からユーザー体験や提供する価値を意識し開発します。

- 個人のプレゼンスを上げるアウトプット機会の豊富さ

社内のレビュー会や1on1、勉強会、テックブログなどを活用し、社内外でエンジニアとしてのプレゼンスを上げてくれることを推奨しており、多くのメンバーが取り組んでいます。

- 英語力

日本だけでなくフィリピンなどの海外拠点と連携し、適時最適なアウトプットをチームで出します。英語を話す目的があることや、一緒に働くメンバーも英語学習者であることは、英語力向上を後押しします。

身につく力・他社にない特徴(サーバサイドエンジニア)

▼他社にはない特徴

- 基幹事業や新規事業に裁量を持てる

AIを活用したサービス開発やこれまでに市場になかった英語学習の法人向けパッケージなど、社内の注力事業に参画します。PdMやビジネスサイドと意見交換しながら、技術視点で意思を持ってプロダクトをリードします。

- 働きながら英語を学べる

フィリピン子会社のエンジニアとの連携など、英語を学び、すぐに使える環境があります。業務中のレッスン受講も可能であり、学習をしながら徐々に英語のMTGに参加するなどステップアップするメンバーも多いです。英語については無理強いせず後押しするスタンスであり、メンバー毎にレベルや意欲を考慮してアサイン等を決めます。

身につく力・他社にない特徴 (DevOps)

▼身につく力

- レイヤーをまたいで良いものを作る力

インフラとアプリ開発の垣根が低く、越境しながら開発する文化があるため、アプリ開発側と意見交換しながら、意図を理解した上で環境を構築します。インフラでありながらアプリ側の視点も持つことで、全体最適化されたインフラを設計することに取り組むことが可能です。

- 未知の状況から解を見つける力

現在始動しているシステムリプレイスに伴い、制限がある中で多様な検証や検討を行い、最適なアーキテクチャを模索しています。試行錯誤できる環境で、ご自身のスキルや知見を高めながらアウトプットする力がつきます。

- マルチにクラウドを利用する力

AWSをベースとしたプラットフォームを多数のマネージドサービスを連携させて構築したり、音声解析やDMPではGCPのサービスを活用したりと、マルチにクラウドを利用することでモダンなインフラ構築の経験を得られます。

- 英語を活用し、グローバルエンジニアとして活躍する力

レアジョブは日本だけのシステムでなく、フィリピン側のシステムと連携してサービスを展開していますので、システム全体を見るインフラは、フィリピン側との関りが深くなります。他国の文化や特性を知り、理解しなくては業務を進めることが難しいため、おのずと多様性を尊重し、広い視野が身につきます。

身につく力・他社にない特徴(DevOps)

▼他社にはない特徴

- 働きながら英語を学べる

フィリピン子会社エンジニアとの連携や日本オフィスでのコミュニケーションなど、英語を学び、すぐに使える環境があります。業務中のレッスン受講も可能であり、学習しながら徐々に英語のMTGに参加するなどステップアップするメンバーも多いです。

参画PJ例 (DevOps)

▼レッスンルーム全展開 (WebRTCを用いたレアジョブ独自のレッスン受講システム)

・何をやるのか

現在、Skypeに代わる、レアジョブ独自のレッスン受講システム「レッスンルーム」を一部ユーザーに展開しています。これを全ユーザーに展開するにあたり、現状のオンプレライクな環境では瞬間的なトラフィックに耐えることができないため、クラウドシステムを活用した構成の設計から構築を行います。

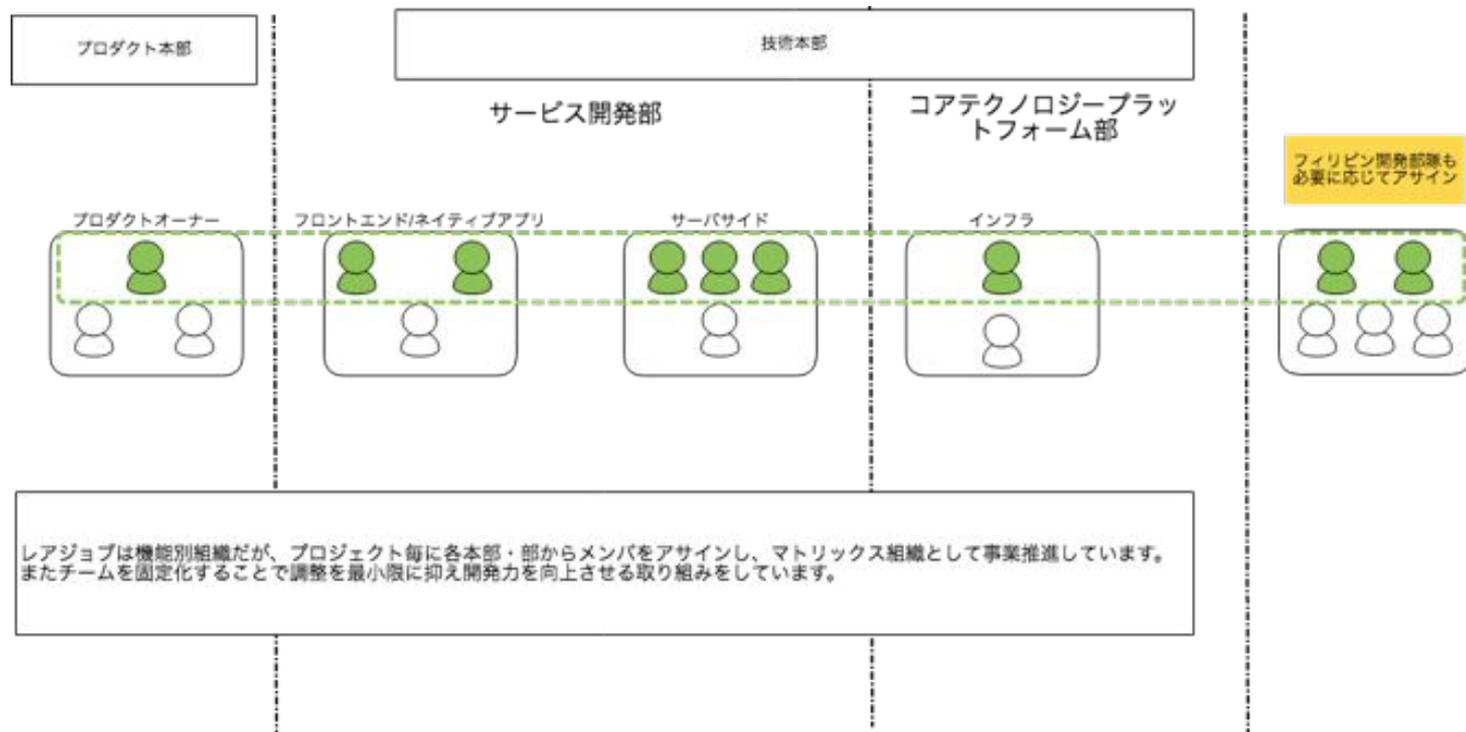
・なぜやるのか

従来はSkypeを介してサービス提供してきましたが、外部システムであることから、安定的なレッスン提供や、レッスンのデータを取得することが出来ませんでした。私たちはレッスンのデータを分析し、個人毎に最適なカリキュラムや勉強方法をレコメンドすることで効率的効果的に英語が習得できるサービスの提供を目指しており、自社システムでのレッスン提供はその第一歩に不可欠です。今期はこのシステムを全ユーザーに展開することで、次世代の英語教育の実現に向けてアクセルを踏みたいと考えています。レッスンの開始直後など瞬間的に発生するトラフィックをさばくために、アーキテクチャの見直しを図り、全ユーザーの利用に耐えうるインフラの設計・構築を行います。

・どうやってやるのか

- PJの全体人数:レアジョブ英会話サービスに関わる全ての部署より1人もしくは2人の協力を仰ぎ検証を実施、インフラエンジニアは2名で対応
- PJにおいてチームの担う役割: AWSサービスを利用したインフラアーキテクチャ設計・構築・運用
- 技術スタック: EC2, ALB, AutoScaling, S3, CodePipeline, CodeDeploy, CloudFormation
- 連携する部署: プロダクト企画、サービス開発、カスタマサービス、フィリピン子会社
- 開発の進め方: 個々で設計を行い、チーム内でレビュー実施し、他部署と連携しながら検証

開発体制



今の状況

主なプロジェクト

大きな変革期を迎えています

- UI/UX・システム基盤の大刷新プロジェクト
- オートスケール化を含めたインフラ基盤の改善
- 法人向け成果保証サービスの拡販
- AI採点システムを目指した新規事業
- ネイティブアプリへの体験リニューアル

コロナは追い風でもあり、ユーザー数は大きく伸びています。

加えて**会社が次のフェーズになるため**に事業・組織においてチャレンジングなプロジェクトが多く走っています。

開発組織もこれを支えるために既存システムの見直し・新技術の導入を進めています。

今の状況



レアジョブ

全社的な横断プロジェクトが進んでいます。

日本とフィリピンで連携して

UXのアップデート、全体のビジネス基盤構築、海外展開、
拠点を跨ぐ開発体制を進めています。



システムリニューアルPJ始動。EMが技術本部ビジョン“Technology for learners”に込めた強い意志

働くひと

エンジニア

挑戦する

🕒 2020/03/12

🕒 2020/03/17

リニューアルPJ

現状

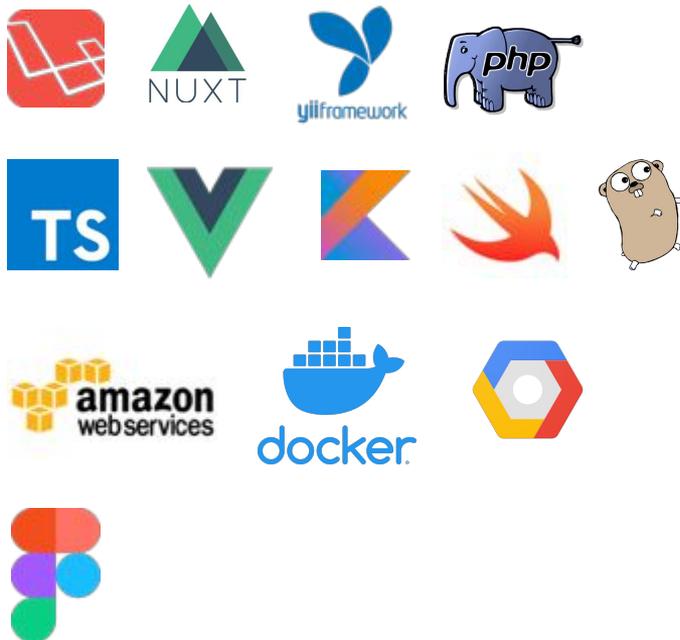
- モノリシック
- Yii Framework
- JQuery
- javascript
- css
- jenkinsでのデプロイ
- レガシーなビジネスロジック
- 定期リリース

目標

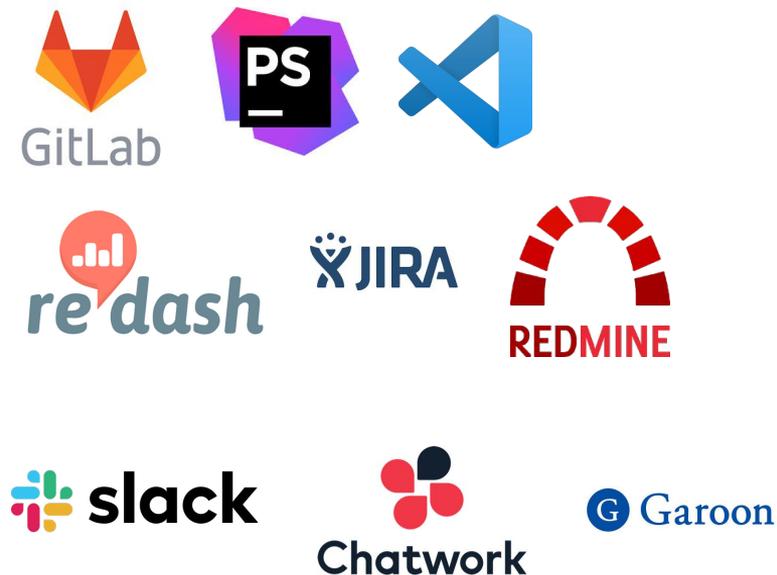
- マイクロサービス化
- Laravel
- Nuxt
- typescript
- sass, storybook
- DDD
- AWSをもっと活用する
- いつでもリリースしやすい状態

ユーザーや目的によって技術/環境を設定

Framework, Language, Cloud



Environment



Culture 1. 部門またいだエンジニア連携レビュー

相互レビューによる品質改善

規模の大きかったり扱う情報がセンシティブな案件に対してはレビューを実施

- グランドデザイン
- 見積もり
- アーキテクチャ
- テーブル
- リリース

に対してCTO含めてリードのメンバーよりレビューを必要に合わせて実施することで
連携漏れや利用技術に対してアップデートをかけています。

企画メンバーも巻き込んで、どう体験を改善するか・懸念点は何かをステークホルダーを含め議論しています。

Culture 2. 積極的な「振り返り」の文化

定期的な振り返り・失敗のシェア

- エンジニアだけでなく企画メンバーも巻き込んで横断での振り返り
- スクラム・WF関係なくプロジェクトごとにどんどん振り返り
- 結果もコンフル等で共有して常にだれでも見えるようにオープンに



Culture 3. 英語は現場で学ぶ

英語は話せなくても全然OK、少しずつMTGや出張へ

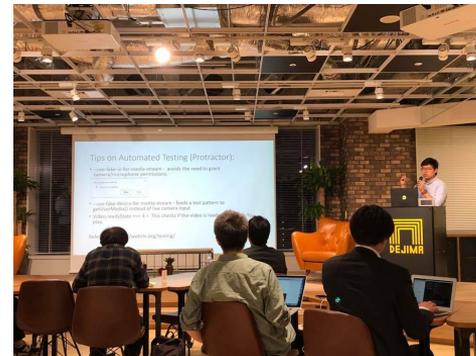
- 入社時の英語力は不要(一部の求人を除く)
- 入社時TOEIC300点で学習して海外メンバーと協働するメンバーも多数
- 業務時間中のレッスン受講も可能
- スキルや技術だけでなく英語力も身につく、新しいキャリア形成が可能



フィリピンオフィスでMTG



現地でペアプロ(この時はVue.js)



日本の勉強会で登壇するPHメンバー

英語を使った業務の様子1 🗨️

The screenshot shows a chat window titled "DevOps JP-PH chat" with a search icon. The chat history includes:

- Val | First Val T. Babon** (RareJob Philippines, Inc.) at 11月27日 14:47: A message to Masayuki Shino / 篠 雅行 and Takafumi Okuchi / 奥地 孝文. Content: "I would like to inform that we need Shino-san to standby on December 1 at 7AM PHT Beta release or 8AM JST as Rollout plan by Supervisors in PH."
- Val | First Val T. Babon** at 11月27日 14:53: A link to a wiki page: [https://rarejob.atlassian.net/wiki/spaces/DevOpsPH/pages/1681031610/\[Release+Action+Plan\]+TWE...](https://rarejob.atlassian.net/wiki/spaces/DevOpsPH/pages/1681031610/[Release+Action+Plan]+TWE...)
- Mae | Mirafior Bunao** (RareJob) at 11月27日 15:02: Reply to Val: "We can run the pipeline today 🙌"
- Toshiomi Usui / 薄井 敏臣** (RareJob) at 11月27日 15:31: Reply to Val: "Do you think that you will need approval on the day you work?"
- Mae | Mirafior Bunao** at 11月27日 15:46: Reply to Toshiomi: "I forgot to ask. Should I merge it?"
- Masayuki Shino / 篠 雅行** (RareJob) at 11月27日 15:54: Reply to Mae: "Hi, Val-san" and a link to a Redmine issue: <https://rdsds.rarejob.com/redmine/issues/64952>. Content: "Already added approval policy. Please confirm it 🙌"
- Mae | Mirafior Bunao** at 11月27日 15:57: Reply to Masayuki: "ah I think both of us can merge it. Can I ask you to merge it? I'll run the pipeline if it get ready po. 🙌"
- Mae | Mirafior Bunao** at 11月27日 15:59: Reply to Mae: "I merged it. Here's the pipeline" and a link: <https://git.rarejob.com/devops-ph/cloudformation-templates/pipelines/25742>

DevOpsチームチャット

日比を横断してAWSを管理するために、
日々のオペレーションやコード化されたインフラのレビューを実施。

国は離れていても距離は近く
絵文字やリアクションも交えつつカジュアルに
コミュニケーションが取れる。

* 会話でわからないところはチャットでフォローしたり
先にチャットで連携をとっておくことで
会議を円滑に進めるなども

英語を使った業務の様子2 🗨️



田原一樹 @kazuki.tahara started a discussion on an old version of the diff 2 weeks ago
Last updated by john.dela.rosa a week ago

```
src/tutor/components/atoms/SignalStrength.vue 0 → 100644
```

```
30 +     break
31 +     case '2g':
32 +       this.$data.networkInfo = Constants.SIGNAL_INDICATOR_POOR
33 +     break
34 +   default:
35 +     break
36 + }
37 +
38 + if (navigatorConnection.downlink <= '0') {
39 +   this.$data.networkInfo = Constants.SIGNAL_INDICATOR_OFFLINE
40 + }
41 + }}
42 + }
43 +
44 + mounted () {
45 +   setTimeout(() => {
```

田原一樹 @kazuki.tahara commented 2 weeks ago
Why let it fire 2 seconds after being mounted?

john.dela.rosa @john.dela.rosa changed this line in version 2 of the diff a week ago

Reply...

Resolve discussion

田原一樹 @kazuki.tahara commented 2 weeks ago



👍 1

LessonRoom コードレビュー

日比を横断してレッスルームのプロダクトは相互にレビューを実施している。

WebRTC、VueやTSの経験の浅いPHメンバーをフォローしたりされたりしている。

* 意図が分かり難所などはチャット上で「会話」ではなく「文章」で説明してもらうことで意思疎通に齟齬がないようにしている

Culture 4. アウトプットの推奨(勉強会 x Tech Blog)

取り組み

社内外でのプレゼンス向上や技術力アップのための社内勉強会の実施
テックブログでのアウトプットを推奨しています

社内勉強会のネタ(月2回の定例)

- goでgoogle spreadsheetを操作してみた！
- ElasticCache(redis) のバックアップを考える
- BigQuery で テーブル毎のレコード数をグラフ化する

テックブログのネタ(毎週投稿！)

- 身近なデータ分析 ～クラスの継承関係を題材に～
- CloudFront + S3 でオリジンが更新されたら自動でキャッシュ削除する仕組みを作る
- デザインセンスとは？



RareJob Tech Blog

作業環境・キャリア支援

- 働き方
 - フレックスタイム制(10:00 - 17:00 コアタイム)
 - 副業OK
- オフィス環境
 - MacBookPro
 - デスク・キャビネット・ディスプレイ支給
 - Baronチェア
- スキル向上
 - 業務としての勉強会参加
 - 技術書購入補助
 - レアジョブ受け放題
 - 勉強会参加・資格取得補助(一部)
 - 部活補助、etc...
- 育児サポート
 - 結婚・出産祝い金
 - 子供用英会話福利厚生
 - インフルエンザ負担(ご家族も)
 - 男性の育休取得実績
 - 育休取得実績100%
- その他
 - 持株会
 - ベネフィットステーション
 - 駐輪場

目次

1. 会社・プロダクトの概要
2. 技術本部の組織・カルチャー
3. **エンジニアメンバー**
4. 採用関連の主な質問と回答

CTO・部長



CTO 山田 aka 山田さん

Sler、Yahoo!Japanを経て、KDDIグループのmedibalに参画し、広告及びメディアの開発責任者を歴任しCTOとして従事。新たなチャレンジとして、レアジョブに2017年10月から参画。現在は、エンジニア組織の再編、技術の再選定を行っている。



サービス開発部 部長 羽田 aka ジャンボ

学生時代よりRettyやgloopsでエンジニアとして働き、新卒でヤフーに入社。2016年に株式会社レアジョブに入社し、ただ一人のアプリエンジニアとしてネイティブアプリ事業を立ち上げる。現在は 技術本部 部長 兼 デザインチームリーダーを務めており、UX・デザインからアプリケーション開発まで広く責任者を担当している。



コアテクノロジープラットフォーム部 部長 岩堀 aka ボス

Slerやモバイルサービス会社でインフラエンジニアとして基盤の設計から構築・運用を担当し、時にはプログラマーとして開発やPMとしてWEBアプリやモバイルアプリのPJを管理するなど幅広いフィールドを経験。2012年レアジョブ参画後、インフラ基盤の設計・構築を行い、開発としてレアジョブAPIの設計・開発も担当するなど様々な視点を持って担当。

Q. 入社してみてどうだった？

課題解決に向けてチームで取り組む文化があり、ポジションや部署関係なく意見交換しながら良いプロダクトを作る風土がある。技術的にもコードレビューや振り返りなどが文化になっている。

Server Side Engineer

英語に触れることや勉強するきっかけはダントツに増えるが、話せるようになるかどうか、海外とのブリッジが多いPJにアサインされるかは個人の努力次第。

Server Side Engineer

上司の紹介で、100名のエンジニアの前で、LTをする機会があった。勉強会への参加や技術書の購入なども推奨されており、個人の能力開発に積極的な上司が多い。

Frontend Engineer

Q. キャリアパスは？

エンジニアリングマネージャーや経営へ

技術の力で事業をスケールさせるミッションを担い、技術組織のマネジメントを経て経営を担う。

企画など別の役割へ

開発を理解しているPdMとして、ユーザー・ビジネス視点で、プロダクトの企画・改善を担う。

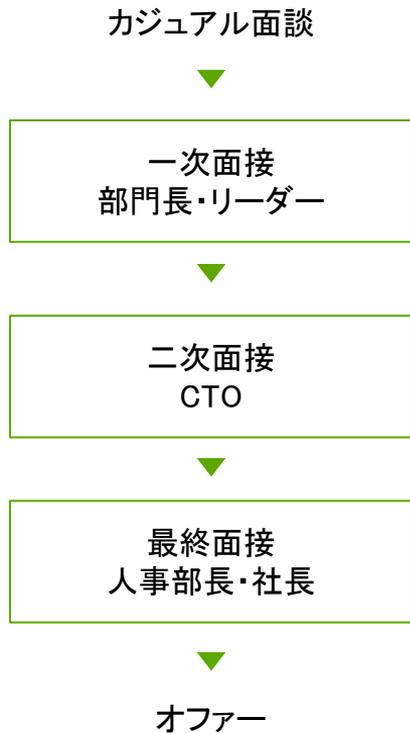
開発内で別のレイヤーへ

モバイルアプリからサーバーサイド、インフラからデータ基盤など、エンジニアとしての幅を広げる。

目次

1. 会社・プロダクトの概要
2. 技術本部の組織・カルチャー
3. エンジニアメンバー
4. 採用関連の主な質問と回答

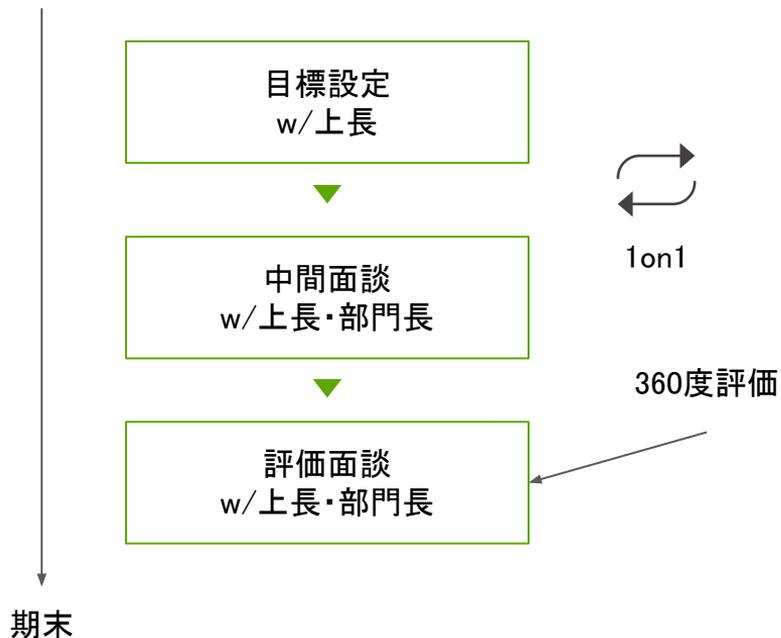
選考フロー



- お互いのミスマッチを避けるために
応募意思がない方にも カジュアル面談を初回・
中盤・終盤で希望に合わせて実施します
- カジュアル面談では会社の説明やポジションの説明を
します
- カジュアル面談は特に用意いただくものはないですが履
歴書・URL等あればスムーズです
- 順番も状況に応じて変えることがあります
- 主に面談はリモートで実施します

評価制度

期初(半期毎)



- 年2回の評価・フォードバック
- 目標・評価管理
- 技術面はもちろん、チームワークやチャレンジに対しても評価
- 等級に応じた目標設定
- 上長と1on1や360度評価ですり合わせをする

さいごに

レアジョブは今大きな変革期です。

会社・組織・システム全てにおいて大きく **拡大と変化** をしています。

UIからインフラ・DXまで、まだまだ課題が山積みです。

グローバルに活躍できる人を増やすため・英語を話せる人を

増やすために **技術で英語学習体験を変えましょう！**



Chances for everyone, everywhere.

We are **Hiring!**

続きはコチラ 



Appendix

技術本部の取り組み

レッスン体験の最適化

課題

ローンチ当初は外部のサービスである「Skype」を利用することで、レアジョブのサービスとは別にアカウント登録や管理が必要になるなど、英語学習の体験だけに集中することができませんでした。

また、それぞれの学習者に合った学び方をデザインしていくためには、レッスンに関するログの取得や、サービス体験のチューニングなど一貫したレッスン体験の改善ができず、今後の展開における課題となっていました。

一方、より快適なユーザー体験を追求していくには、レッスン受講体験の改善だけでなく、ユーザーが自社サービスとは別にSkypeのアカウント登録・管理と本来必要ではない作業をなくし、英語の学習に集中できる環境を作る必要がありました。

一方、レッスンの体験を改善するためにも、レッスンの提供に関わるデータなどが取得できないことで、体験のチューニングが限定的となることが課題となり、一貫したレッスン体験の改善が困難でした。

レッスン体験の最適化

取り組み

SkyWay (NTT Communications)を活用し、WebRTCを使ったレッスン受講システムの提供を2018年より開始。

Skypeを必要としない受講システムをブラウザだけでなく、ネイティブアプリからも提供し、幅広い顧客ニーズに対応しました。

また自社で開発することで各種ログをもとレッスン提供やユーザーのサービス体験の改善へ繋げることが可能になりました。



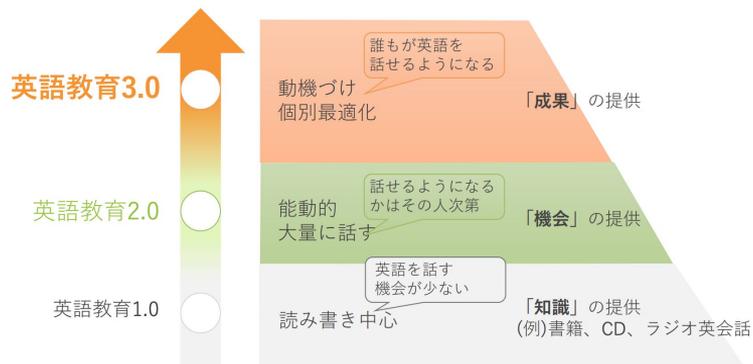
膨大なレッスンデータの取得と活用

状況

毎月約60万回のレッスン(1回25分)を提供しており、レッスン提供や受講履歴だけでなく、サービス内での行動ログや、どんな教材を利用したか、スピーキングレベルがどれくらい向上したかなど、「レアジョブ英会話」の利用に関する各種データが創業当初より蓄積されていました。

一方、それらの膨大なデータを増やすだけでなく、活用していく必要があります。

レアジョブは、レッスンをただ提供するだけでなく、サービスミッション「日本人1,000万人を英語が話せるようにする。」の実現に向け、オンラインの学習サービスだからこそ取得できるこれらのデータを活用することで、ユーザーに個別最適化されたサービス体験の提供を目指しているからです。



膨大なレッスンデータの取得と活用

取り組み

2018年11月には、独自のレッスン受講システム「レッスンルーム」を全会員へ提供開始。これまで取得ができなかった、レッスン中の音声データなどを取得することができるようになりました。そこから、それぞれのレベルのユーザーが、何を上手く話せて、どこに弱点があるかなど、英語習得にまつわる、より細かなデータを集めていくことができ、最適な英語習得法の提案を個別に行うことが可能になりました。

また、これらの蓄積されたデータを活用するべく、各種実証実験や研究結果の情報発信、また外部の教育機関や研究組織との連携強化などに向け、R&D組織である「EdTech Lab」もあります。



社内のデータ活用支援、モデル開発やNTTComとの英会話習熟度の可視化実験を実施

横断したアプリケーション・インフラの管理

課題

レアジョブのサービスに関わるシステムは日本だけでなく、フィリピンでも講師向けのシステムの開発やサービス提供をしています。そのため、サービスを改善していくためには、国内の組織だけでなく、国境をまたいで連携開発が必要になります。

文化や価値観も違うスタッフと近いドメインのシステムの開発をすると、認識の違いや運用における課題が日々出てきます。また利用技術や、それぞれのシステムにおけるターゲットのユーザーが異なり海外と常に連携をする必要がある。

横断したアプリケーション・インフラの管理

取り組み

DevOps チームは、国境を横断して連携するチームを構築し、定例MTGや日々の業務でのナレッジ共有を実施しています。

また、プロジェクト毎に出張やテレカンでフィリピンのエンジニアと密にコミュニケーションを取り、お互いが連携して開発がしやすい状況と関係性を構築できるよう努めています。

さらに、英語のスキルアップにおいては、業務中のレッスン受講を推奨しており、学習と仕事におけるアウトプットを、日々の業務の中で取り組むエンジニアも多く、英語に触れる機会はとても多い環境です。



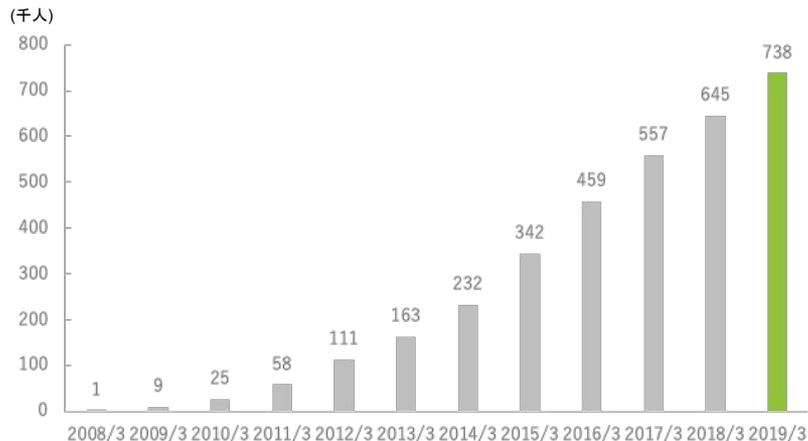
使い込まれたレガシーシステム

課題

創業当初は弊社社長の中村がエンジニアとして経営に参画し、システムの開発・運用を担っていました。

当時のシステムをベースに改修を重ねてきましたが、時間の経過やサービスの拡張、ユーザー数増加に伴い、最適な状態を保つのが年々難しくなりつつあります。

インフラからUXにおよぶ広範囲において技術的負債を抱えたレガシーシステムがま、抜本的なアップデートが必要となっています。



累計無料会員数 (yoyで伸び続けている)

使い込まれたレガシーシステム

取り組み

現在、マイクロサービス化を前提としたサービスの刷新プロジェクトが進んでいます。

日本とフィリピン、また部内外を巻き込んでデータの移行やUXの刷新を進めています。DDD、スクラム、AWS、Vue.js、etc… 様々な技術を組み合わせてサービスだけでなくDX(開発者体験)を向上させるべく現在プロジェクトを進めています。

